

農作業特報

平成28年7月23日

 黒 部 市
 黒部市農業技術会議

これから、主力品種「コシヒカリ」が出穂期を迎えます。今後は、病害虫防除を適期に実施するとともに、適切な水管理により稲体活力を維持し、産米の品質向上に努めましょう。

1 コシヒカリの施肥管理

出穂が早回り、夏バテが懸念されます。稲体活力の維持のため、穂肥（LP 追肥38号）施用後も葉色が淡い場合や、基肥一発栽培でも葉色が淡い場合は、追加穂肥を施用しましょう。

【追加穂肥の目安】

出穂期の7日前頃（7/24頃）に
葉色が4.0未満（壤土は、3.8未満）

早急に追肥を!!

追肥化成3号

5～7 kg/10a

※遅くとも、7/28頃までに
施用しましょう

2 病害虫防除

本田や雑草地のカメムシ類が平年よりかなり多くなっています。出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょ。う。

【コシヒカリの基本防除の目安：粉剤または液剤の場合】

防除時期	防除日（目安）	使用農薬	散布量 希釈倍数	使用基準 （収穫前日数）
1回目 出穂期	7/31	粉剤：ビームモンカットスタークル 粉剤 DL または 液剤：ビームエイトスタークルソル +モンカットフロアブル	4kg/10a 1,000 倍液	14 日前まで 14 日前まで
2回目 穂揃期	8/7	粉剤：キラップ粉剤 DL または 液剤：キラップフロアブル	4kg/10a 1,000 倍液	14 日前まで 14 日前まで

- ・散布時期の間隔は7日間を目安とします。（10日以上あけないように）
- ・**畦畔など周辺雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。**
- ・ラベルの記載事項を確認してから使用しましょう。
- ・風向きと風力、散布量等に注意し周辺の作物への飛散防止に努めましょう。

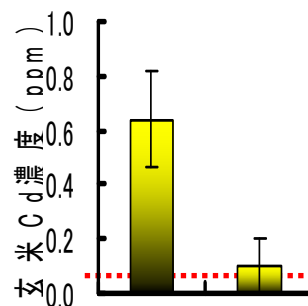
3 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂から20日間は田面が出ないよう、湛水管理を徹底しましょう。

【湛水方法】

- ・水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・みんなで協力し、限りある用水を有効に利用する。

○水のかけ流しは絶対しない。
○水尻はしっかり止める。
○畦畔から漏水がないか点検する。



間断灌漑 20日湛水

図 水稲の出穂後の水管理と玄米中のカドミウム濃度
産米流通対策地域の県有施設
ほ場試験結果（農研コシカリ）

20日間の湛水管理の後は、収穫の5～7日前まで間断かん水を行いましょ。う。